

相関図つき!



討議資料

龍馬プロジェクト

吹田新選会 PRESS

生中継！吹田新選会情報発信局



視聴無料

番組内容は新選会ホームページで予告します。

新選会 検索

吹田新選会情報発信局では、「会える政治家、見える政治」を実現するため、**毎週水曜日午後10時から**～インターネットで生の対談番組をお送りします。

動画を見る方法 簡単です！

パソコン Yahoo! や Google などの検索サイトから **新選会 リアル** 検索

Contents

- (1) 吹田新選会の今後の活動
- (2) これでいいの？吹田市政の実態
- (3) 公開！石川勝の基本政策
- (4) 大反対！ビジョンなき市政運営
- (5) 自分達の待遇を守る、市役所の甘い実態
- (6) 知ってました！？吹田市の家計簿
- (7) 図解！市長選挙の構図 ～5%からの挑戦～
- (8) 一枚からの改革 ～当事者になろう～
- (9) 石川勝の仲間たち



平成22年12月14日 産経新聞

石川プロフィール

石川 勝 (いしかわまさる) 吹田市議会議員
昭和43年、吹田市垂水町生まれ。豊一小・豊津西中・北千里高校・神戸学院大学法学部卒。建築・不動産・保険業務に関わる中、2000年度吹田青年会議所第31代理事長に就任。PTA会長、消防団、商工会議所などの活動を経て07年4月の吹田市議会議員選挙で初当選。

龍馬プロジェクト全国会幹事長・関西州政治家連盟事務局長・橋下知事と共に教育改革を推進。

若い力で
しがらみに勝つ！

石川勝

まさる

(1) 吹田新選会の今後の活動

2月16日 (水) 横峯吉文氏 講演会 ～ヨコミネ式で吹田の教育は変わる～
時間：18時～ 場所：江坂東急イン 参加費：1000円
＊講演後には横峯氏との懇親会を予定しています。

2月19日 (土) 石川勝後援会 事務所開き
時間：11時～ 場所：吹田市垂水町1-31-22
神谷宗幣後援会 事務所開き
時間：13時～ 場所：吹田市千里山西1-37-40

3月12日 (土) 石川勝 吹田市長選挙 決起大会
時間：18時半～ 場所：江坂東急イン

3月20日 (日) 新選会新人メンバー決起大会
時間：13時～(柿本)15時～(後藤)17時～(足立)19時～(坂元)
場所：メイシアター 集会室

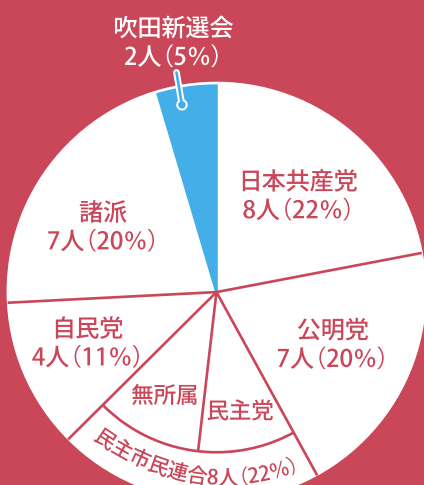
4月11日 (月) 吹田市長選挙 公開討論会
時間：19時会場 開演：19時半～
場所：メイシアター 中ホール

4月16日 (土) 吹田新選会 合同出陣式
時間：13時～ 場所：メイシアター レセプションホール

詳細は吹田新選会ホームページで！ **吹田新選会** 検索

発行：龍馬プロジェクト × 吹田新選会

吹田市議会の議会構成図です。



吹田市議会の
第一党は日本共産党。

次いで公明党。

支持母体のしっかりしたところが、大きな割合を占めていることがわかります。

なぜ？

吹田市の人口は35万人、うち有権者は27万人、この27万人で36人の市議会議員を選ぶわけです。仮に有権者の中に3万人の組織があるとすれば、その組織は4人の代表を議会に送ることができる計算になります。

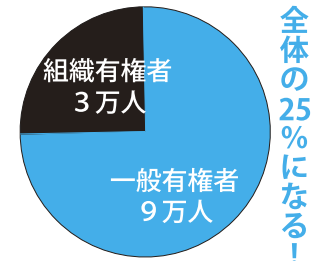
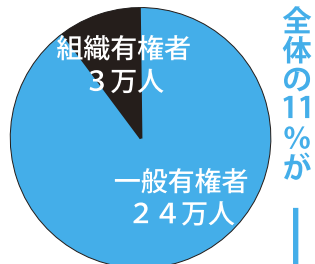
しかし・・・実際に選挙に行くのは12万人

3万人の組織の投票者に占める割合は25%となり、9人もの代表を議会に送ることができるようになります。

15万人の有権者が、無関心から投票にいかないと、組織票が議会構成を左右し、組織のために税金を使うようになります。
無関心は皆さんの不利益に繋がります。(特に若年層)
動いて下さい15万人のみなさん！

次に、吹田の歴代市長を見てみると

1971－1991年（5期） 榎原一夫 氏（日本共産党推薦）
1991－1999年（2期） 岸田恒夫 氏（日本共産党推薦）
1999－2011年（3期） 阪口善雄 氏（自民・公明・民主・社民推薦）



「職・住・学」のハーモニーを！

今のままでは国も地方もそのうち破綻します。我々は支出を切り詰め、身の丈にあったスリムな自治体をつくり、持続可能な運営をして皆さんの生活を守りたいと考えます。市民の皆さんには「がまん」して頂くこともお願いしたいと思います。しかし、家族や市民の「絆」を深め市民満足度を高めることと、将来の地域と国のために人づくり（＝教育・子育て）にはしっかり予算をつけていきます。

また、政治には「夢」が必要です。府や国、民間NPOとの連携により、万博公園やニュータウンを万博当時のように再びアジアのモデル地区とし、新たな雇用の創出と住環境の充実に全力で取り組み、「職・住・学」がすべて揃った「人が集るまち」を復活させます！



（＊新規事業の財源は、就労人口増加に伴う市民税の増収と、市民サービス範囲の縮小に伴う段階的な職員の勤務体制の見直しや市営施設の廃止統合によって捻出していきます。）

吹田への愛着と人と人との「絆」を育み、人々が「夢」をもって暮らせる吹田をつくりたい。「経済のものさし」でなく「幸福のものさし」で測れるまちへ最初の一步を！

石川勝が掲げる5本の柱

①教育のレベルアップ↑

すべての子供は天才である！

「教育日本一」→日本初！公立学校でのヨコミネ式教育の導入

これからの日本には、学業だけでなく世界で活躍できる国際競争力のある人材が必要です。そのために、教育予算を倍増し施設や指導者の充実を図ります。また、幼・小・中一環かつ図書館・公民館・福祉施設が一体となった複合型の学校をつくり、民間と連携し運営していきます。教育の初期段階では横峯吉文氏をアドバイザー招いた「ヨコミネ式」教育を積極導入し、基礎では国語・そろばん・道徳教育を徹底し、応用では英語・歴史・武道などの指導に力を入れ、「智・徳・体」のバランスを重視した教育で、子供の天与の才を引き出します。結果、世界で活躍する人材を「日本一」輩出するまちを実現していきます。

②子育てのしやすさアップ↑

駅前に市公認の保育園を設置 → 待機児童ゼロの実現

子育て世代の就労支援を徹底します。「吹田基準」を設けての保育園の充実だけでなく、小学校での放課後授業や学童保育の規模拡大と時間延長などを行い、「子育てしたい町日本一」を目指します。一方、「かっこいい親作りプロジェクト」や「孫育て塾」などの事業を始め、家庭や地域での教育のあり方を原点に立ち返って見直すこともしっかりとやります。

となっており、現職の阪口市長の経歴を見ると・・・
市の職員→府議会議員（旧社会党：2世議員）→吹田市長となっています。

こうしてみると、吹田市は28年間共産党、その後12年間旧社会党に親和的な政策が進められてきたことがわかります。吹田の福祉政策が充実しているのにはこうした背景があります。

一方、学校で日の丸がしっかり掲揚されなかったり、学力テストの結果が公表されないのもこうした背景が影響しているのかも知れません。

③行政・財政改革でコストダウン↓

子供にツケをまわさない→しがらみのない新人若手市長だからできる改革

全国初のボランティア（無償）議員制度の導入【1億5千万】、部長級以上職員（現状70人）のポスト見直しと若手職員を抜擢する人事制度導入【3億】、市長・幹部職の給与削減（20～30%）【1億】、若手副市長直轄のプロジェクトチームによる事業仕分け【50億】市営施設の統廃合【20億】、市役所業務の徹底的なIT化【10億】などをすすめ、吹田市の固定費を徹底的に下げ、ツケの先送りをストップします。【 】は予算削減目標値

④高齢者施策でクオリティー・オブ・ライフ アップ↑

ニュータウンに高齢者モデル地区を！ →

急速な高齢化を迎えるアジア諸国のモデルに

府や国、民間NPOと連携し、ニュータウンに高齢者のことを最優先に考えた地区をつくります。そこでは、2世代・3世代モデル住宅や24時間外来のある住民参加型医療施設、託老所を設け、もの忘れ外来や共済システム、徹底した在宅医療サポートを進めます。高齢者がコストをかけず家族と安心して暮らせるサポートを吹田市の行います。また、元気な高齢者には子供たちの教育活動に積極参加してもらい、「教育日本一」の立役者になっていただいて、おじいちゃん・おばあちゃんと孫が遊び、学べる環境を充実させます。

⑤産業育成で税収アップ↑

「知」の集約による産業支援 → 関西州の中心都市に

「市内特区」を設けて、海外のシンクタンクや研究大学院などを誘致し、大学や市内企業とつなげ、パテント事業や開発事業の振興を江坂中心に整備します。また、民間資本による防災対応型のサッカースタジアム建設をすすめ、万博・ニュータウンの再整備には、海外からの投資も呼び込み、キャッシュフローを高めます。その上で、高速道路・空港・新幹線などの吹田の持つ交通インフラの利点を活かし、道州制の実現を想定して、関西州の中心都市になる準備を進めます。

以上の改革はすべて民間と連携して行い、なるべく市民に負担をかけないようにコスト意識をもった運営に努めます。この5本の柱を中心に今後細かい政策を考えて参ります。ぜひ市民の皆さんのご意見やご要望をお聞かせ下さい。

（４）大反対！ ビジョンなき市政運営

議員として市政運営に参加していると市民の皆さんに見えにくいところで、様々な問題があることがわかります。

「権力は腐敗する、専制的権力は徹底的に腐敗する」という格言がありますが、「人は自分の影響力が強まるに応じて、道義的感覚が鈍麻していくのが常だ」という指摘は的を射ていると感じます。民主主義の原則は権力の交代を保障すること。アメリカの大統領も２期までしかできません。よって、現職の阪口市長の４期目の出馬には大きな問題を感じます。

我々が考える主な問題点と反対理由をお伝えします

問題点	反対理由
職員のやる気の低下。	市長の個人的な繋がりが庁内外にひろがり、人事や市の対外的契約が偏向し、良識のある職員からやる気を失っていく。
議会のチェック機能の低下。	一人の市長の長期政権ができると、議員もバーターで取り込まれ、議場や委員会では反対のポーズを見せていても、水面下の取引ですべての議案に賛成してしまう。
学力テストの結果非公開 & 新幹線などの展示施設の設置	一般市民の意見とはどう考えても食い違う政策が進められることがある。一部の支援者や支援団体の意向を強く反映したものと思えない。
見えない将来負担の増加	支持を集めるため見える開発はすすめてきたが、小中学校の耐震化や老朽化の対応、水道などのインフラの更新など、見えにくい部分での予算計画をまったく進めないまま、PFIなどを使って新規開発をすすめてきたツケが一気に回ってくる。

私達の考え・・・

- ①しがらみを一掃しクリーンでわかりやすい政治をすること。
- ②正直ものがバカを見ない、信賞必罰の公正人事をすること。
- ③大人の責任を自覚し、子供にツケをまわさない財政運営をすること。

５ 自分達の待遇を守る、市役所の甘い実態

皆さんは「経常収支比率」や「ラスパイレス指数」という言葉をご存知ですか？

経常収支比率とは、市に対し税金などで入ってくるお金のうち、人件費など固定的にかかる経費の割合で、市の財政の弾力性を表す数字です。

吹田市の場合、２１年度の経常収支比率は、**９９．８％**

この数字から新しい開発や新規事業を始める余力は全くないことがわかります。

また、ラスパイレス指数とは、国家公務員の平均給与額をとして算出した一般行政職の地方公務員の給与指数のことです。平成２２年、全地方公共団体の平均指数は９８．８％であるのに対し

吹田市のラスパイレス指数は**１０１．６％**
(大阪府下ではナンバー１です。)

つまり、吹田市は財政的な余裕がないわりに、他市と比べても職員の人件費が高いことがわかります。３５万の人口に対し常勤職員は２２年度で約３２００人、同じ３５万人口の高槻市が約２３００人の職員で運営していることを考えれば、もっと効率のいいやり方があるのでは？と考えてしまいます。

我々、新選会のメンバーは
４年間の議会活動の中で、
以下のような職員待遇を
問題としてきました。



１．給食調理員の業務は民間委託した方がいいのでは？

調理員の法定勤務日数２４７日（年休などを引くと実働２１９日）

実働時間１日７．５時間 平均人件費**７４３万円**（平成１８年）

７４３万 ÷ ２１９日 ÷ ７．５時間＝約４５００円の時給

民間に委託した自治体のデータと比較すると倍近い人件費がかかっています。給食調理を民間委託をして、衛生上問題が起こったとか、サービスが落ちたという話は全く聞きません。こうした事業は民間委託でいいのでは？

２．お手盛り人事だ！幹部職員が多すぎる！

平成２１年の職員数と平均人件費です。

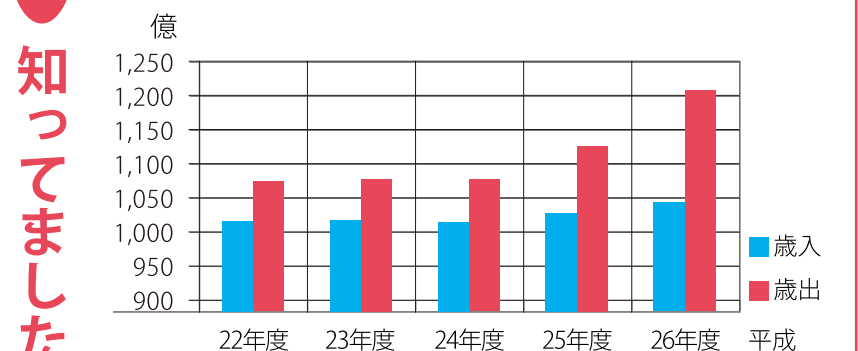
	市 長	総括監級	部長級	次長級	課長級	議 員
平均年収額	2272万	1428万	1283万	1199万	1132万	1235万
人 数	1人	16人	54人	154人	277人	33人
総 額	2272万	2億2千万	6億9千万	18億4千万	31億3千万	4億

＊近隣他市の部長級以上の職員数は、豊中市４１人、茨木市１８人、高槻市２４人
吹田市には、議員歳費より高い給与をもらっている部長級以上の職員が７０人もいます。近隣市との比較をみても幹部職員は絞って、給与は下げるべきと考えます。

こうした状態の改善を多くの議員が議会で訴えてきましたが、阪口市長が根本的な公務員改革を進める様子はありませんでした。その姿勢が今後変わるといったこともないでしょう。

「新選会から市長が誕生すると職員の給与やポストが削られるぞ！」と庁内で噂が流されているのを聞くと、「誰のための政治なのか」と疑問を呈さざるを得ません。我々は職員の方々をいじめるつもりはありません。ただ、社会の現状を見て、やるべきことは市民のためにしっかりやります。

下のグラフは昨年、吹田市から出された収支見通しです。市の貯金である財政調整基金も２０１２年には底をつく計算になっています。



今後、実施計画上で把握できる大規模事業の事業期間と事業見込額

東部拠点整備事業	H18年度～H27年度までで約５．８億円
千里南地区センター再整備事業	H19年度～H42年度までで約９．９億円
千里山駅周辺整備事業	H17年度～H41年度までで約８．４億円
西吹田駅前線立体交差事業 (南吹田)	H18年度～H28年度までで約１２．７億円

このほかにも小中学校の建替えや上下水道のメンテナンスなど、事業計画はできていませんが、必ずやらねばならない事業も吹田市は潜在的に抱えています。

もはや吹田は、財政的に豊かなまちとはいえません。

連結決算ベースでの吹田市民**１人当たりの借金**を計算すると
平成２０年度ですでに・・・**３４万１８２４円**



「総括監制度など特定の幹部層に厚く、若手職員に犠牲を強いるような**人件費**の制度」や「**市長やその取り巻きが欲しいものと、市民が本当に必要なものを精査しない事業費**」を放置してきた市制運営にも問題があります。

東京都杉並区で山田前区長が行った財政改革では、平成１１年当時**８７２億円**あった借金を平成２０年には**２４６億円**まで減らしたのです。そのためにすべての予算を例外なく１５％カットしながら、教育や区民サービスの向上に取り組まれました。区民や職員には非常に厳しい改革であったようですが、改革を一気に行ったことや減税自治体構想という大きなビジョンがあったことから、区民や職員からも次第に理解され、協力してすすめることができたとのことでした。

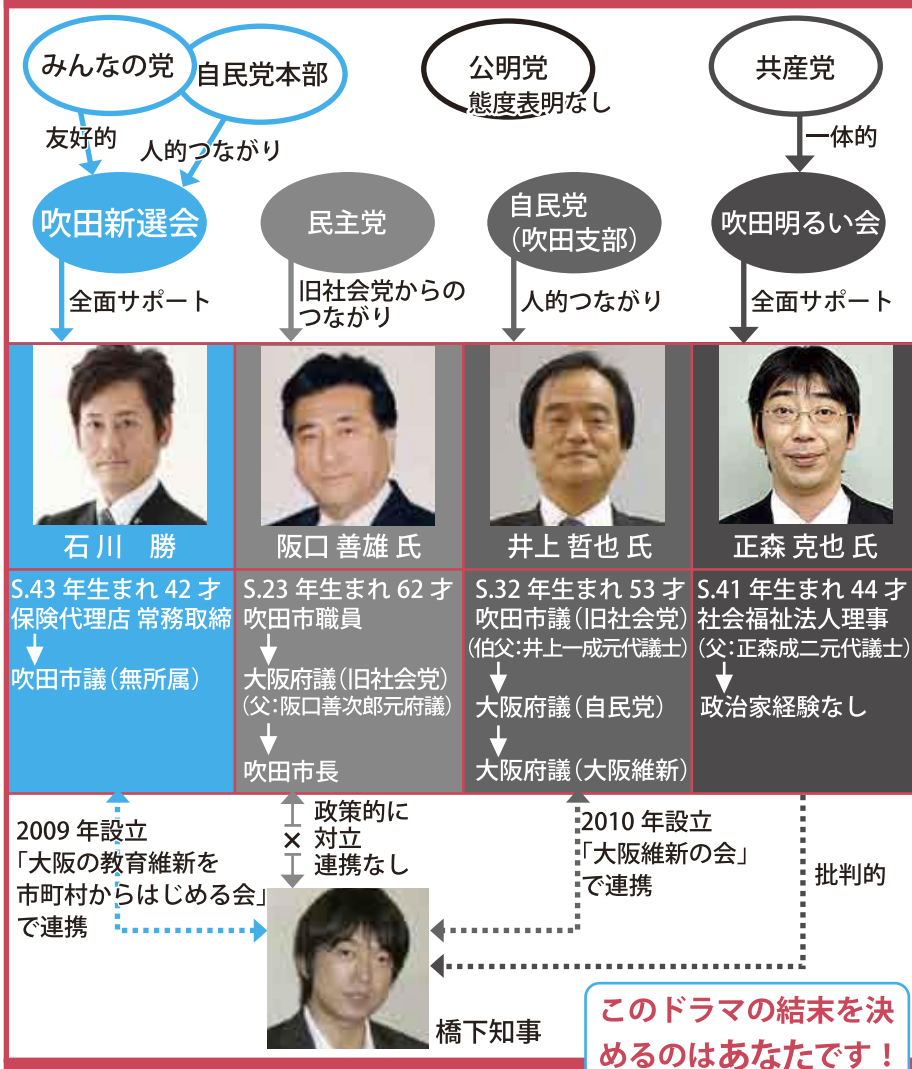
リーダーが変われば、不可能といわれることも可能になります。

今、吹田にもっとも必要なもの、それは「意識改革」。

（7）図解！吹田市長選挙の構図

～5%からの挑戦～

23年2月1日現在



前回平成19年選挙の総投票数は126289票。新選会の石川・神谷の合計得票数は6421。全体の5%しかありません。そんな二人でチームを組んで市長選挙を戦おうという無謀な挑戦です。しかし、時代の変わり目、吹田でも**しがらみのない若い力で改革**が必要なのです。その意義をしっかりと伝え、私達は前回投票に行けなかった15万人の市民に思いを届け、「**今回は選挙に行こう！**」と思ってもらえるように全力を尽します！

古い政治の遺産を受け継がず、ゼロから創り直します！

非常に難しい改革です！

（8）一枚からの改革～当事者になろう～

私たちのありったけの思いを込めてこのチラシを作りました。読んでいただければ、きっと市民の皆様は、改革の必要性にお気付きいただけると信じて配っています。このチラシを読んで、ご納得いただけた方は、ぜひ「若い人たちが、頑張ってるから見てあげて」と1人が一枚を口コミで広げてください。その行動によって、皆さんも吹田市政に参画する「当事者」になっていただけることと思います。

小さな一歩で大きな意識改革を！ ぜひご協力をお願いします。

応援してくださる方・市政報告チラシを周りの方にお配りいただける方を募集中です。

(ふりがな) お名前	お電話番号
〒	
ご住所	
この部分を FAX で送信して頂くか、ご郵送又はメールをください。お送りいただいた皆様には定期的に市政報告チラシをご郵送させていただきます。	
<連絡先>	住所/〒565-0851 大阪府吹田市千里山西1-37-40
ご連絡下さい	吹田新選会 神谷宗幣
	電話 / 090-6059-8330 FAX/ 06-6385-1239
	メール / s0803.2000@gmail.com

ホームページが完成 ぜひご覧ください！ <http://www.suita-shinsenkai.jp>

4年間書き続けたブログ 新選会 神谷宗幣 検索

新選会の歩み、日常の活動や考えていること、議会の情報なども書いています。

政治活動資金のカンパ

詳細はホームページを参照いただくか、お問い合わせ下さい。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。ここまで読んでくださった皆様が改革の先行者となってくださることを切に願います。

（9）石川 勝の仲間たち

かみや
そうへい



神谷 宗幣

●昭和52年10月12日生まれ●山田在住（事務所：千里山）●経歴：関西大、関大法科大学院卒、元高校教師●所属：吹田青年会議所、予備自衛官、龍馬プロジェクト全国会会長●趣味：スポーツ全般、旅、史跡めぐり●性格：やるといったら必ずやる●好きな言葉：志をもって万事の源となす●尊敬する人：吉田松陰、坂本龍馬、山田方谷●アピールポイント：行動力

ごとう
きょうへい



後藤 恭平

●昭和55年10月20日生まれ●岸部在住（事務所：片山）●経歴：後藤土地家屋調査士事務所・GOTOハウジング代表、後藤測量事務所代表取締役●所属：大阪土地家屋調査士会、(社)大阪府宅地建物取引業協会、吹田青年会議所●趣味：子供と遊ぶこと●性格：温厚で頑固●好きな言葉：なせばなる、なさねばならぬ、なる業をならぬと捨てる人のはかなさ●尊敬する人：母●アピールポイント：3児のパパ

あだち
のぶかつ



足立 将一

●昭和60年11月5日生まれ●南金田在住●経歴：神戸大学法学部卒、不動産会社、家庭教師●所属：龍馬プロジェクト、林英臣政経塾塾生●趣味：ラクロス、ピクニック●性格：元気で前向き●好きな言葉：一身独立して、一国独立す●尊敬する人：父、福沢諭吉●アピールポイント：持久力

さかもと
だいすけ



坂元 大輔

●昭和57年8月20日生まれ●千里丘在住●経歴：米セントマーチンズ大学卒・元医療系企業社員●所属：吹田ローターアクトクラブ会員、千里丘町会会員、一般財団法人親学推進協会認定アドバイザー●趣味：スポーツ(テニス・サッカーなど球技系)、読書●性格：不器用だけどまっすぐ●好きな言葉：人生二度なし●尊敬する人：坂本龍馬、ユリウス・カエサル●アピールポイント：英語が得意

かきもと
あつや



柿本 篤弥

●昭和43年6月8日生まれ●山田西在住●経歴：関西外国語大学卒、日本実業出版社元営業部マネージャー●所属：大阪日台交流協会理事●趣味：ドライブ●性格：温和で几帳面●好きな言葉：和顔愛語、因果応報●尊敬する人：祖父母、上杉景勝、大谷吉継●アピールポイント：祖母の介護経験(6年間)

ふじい
ゆうか



藤井 佑香

●昭和60年5月21日生まれ●内本町在住●経歴：香川大学法学部卒、元食品会社社員●所属：龍馬プロジェクト、藤井まさとし後援会●趣味：映画鑑賞●性格：明るく元気●好きな言葉：意志あるところに道あり●尊敬する人：両親●アピールポイント：友達の多いこと

えのきうち
さとし



榎内 智

●昭和53年11月3日生まれ●岸部在住（事務所：清和園町）●経歴：衆議院議員秘書、社会福祉士、ベンチャー企業代表●所属：みんなの党、日本社会福祉士会会員、大阪商工会議所会員●趣味：ベランダ菜園、お笑い(M1 出場歴有り)●性格：真面目に見えて、実は大雑把●好きな言葉：Think Globally, Act Locally●尊敬する人：手塚治●アピールポイント：前向きな思考

プロフィール

1978年生まれの吹田育ち。東佐井寺小・佐井寺中卒業。少年時代はボーイスカウト活動にのめりこむ。関西福祉大学を卒業後、社会福祉士として地域福祉の現場で働く。その後、学生時代に企画した公開討論会が縁で衆議院議員の秘書となる。現在、ITベンチャー企業代表。妻と5ヶ月になる息子の3人家族。社会福祉士としての優しさと経営者としての厳しい視点で、吹田市を住民主体の効率的な行政に改革すべく、市政への挑戦を決意。